

りとせ相模大野保育園

子育て支援広場 子育て情報 令和8年3月号

少しずつ寒さも和らぎ、春の訪れを感じられる季節になりました。

今年度も残りわずかとなりましたが、皆さまと沢山の笑顔に出会えたことを嬉しく思います。3月は、進級や入園を控えたご家庭も多く、少しドキドキする時期ですね。子どもたちは新しい環境へ向かって大きく成長しています。保護者の皆さまも、日々の子育てお疲れ様です。保育園では今月も第3火曜日には、**司書による読み聞かせ**を予定しております。是非、お気軽に遊びにいらしてくださいね。お待ちしております。

※読み聞かせのご予約は園にお問い合わせください。

【子どもたちの食具について】 第3弾

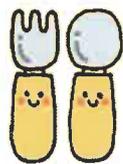
☆姿勢と環境づくりも大事なポイント

食具の使い方は、実は姿勢の安定と深く関係しています。足が床につく椅子で、テーブルの高さが子どもの胸より少し下の位置になると、手元が安定して操作しやすくなります。また、器の大きさや素材（割れにくく軽いもの）も、使いやすさに影響します。

☆「できた」を積み重ねる食事時間に

食べこぼしは成長のあかしです。うまくできない時には、大人のひと言や手助けが子どもの「やってみよう」「できた！」の繰り返しになり、子どもの自立につながります。ご家庭でも無理のない範囲で楽しく挑戦できる環境づくりを意識してみてください。

☆今回まで3弾にわたり食具の使い方についてお伝えしてきました。ご家庭でも是非実践してみてください。



1・2・3歳は自我が発達しつつも全力！！

これまでは、使っていた玩具を渡さなくなっている・・・これは、健やかに育っている証拠です。子どもたちは概ね2歳前後から自分の意思が芽生え「OOしたい」「OOするつもり」「ここは自分の場所」などと考えてようになってきます。これが自我の発達です。この頃の子どもたちは、自分中心で周囲の人たちも自分と同じ気持ちだと考えています。この頃の我儘に見える行動は発達にとって大切な姿です。つまり、この頃「はいどうぞ」と大人にとって都合の良い行動ができないことに何の心配もありません。

また、言葉で自分の気持ちを表現できない段階の子どもたちが、友だちや親を叩いたり、泣き叫んだり、ひっくり返って怒ったりすることがありますが、このような行動には必ず子どもなりの理由があります。全力で自分の思いを表現しているのです。ですから子どもの思いを汲み取って代弁し「いたかったね」「いやだったね」「もっとあそびたかったね」など、言葉で表現していきましょう。そして「ママはまだやりたかったよ」「パパは悲しいな」など、自分の気持ちも言葉で表現して伝えることをお勧めします。この頃の子どもたちは、十分に心と体を動かし全力で自身を拡大させ、友だちや大人と関わることで、次第に周囲を理解し少しずつ自分の行動の調整が上手にできるようになっていきます。上手に行動が調整できるようになるためには、十分な自身の拡大が必要です。子どもが一生懸命自身を拡大できるように見守りましょう。ただ、なかなか泣き止まないなど、気持ちの切り替えには、適度な大人の援助も必要です。長泣きしている時には「さあ、おしまいにしようか」「次は、OOしようか」など何事もなかったように明るく声を掛け、気持ちの切り替えをしましょう。

子どもの感情に巻き込まれず、大人としてゆとりある対応をしたいですね。

育児相談

子育てをされていて、不安に思うことや誰かに相談してみたいと思う時はありませんか？りとせ相模大野保育園では、育児相談をお受けしています。お気軽にお電話ください。

お待ちしております。

〒252-0303

相模原市南区相模大野3-14-2 4F TEL 042-705-5311